

きたやま
北山C遺跡（第6次） No.2



アーリー
ちゃん

あれ～？ 何をしているのかな。

表土掘削



表土掘削は、調査区の西から95m
(面積約800㎡)ほど進みました。

表土掘削で、掘立柱建物の柱穴らし
き遺構が見えています。

遺構検出



作業員さんが三角ホーやジョレンなど
を使って、遺構検出をしています。

台風の影響で……



先日の台風 11 号の大雨で調査区
の西端が水没してしまいました。

表土掘削は、調査面積 2,500㎡の約1/3を終了しました。表土掘削は、表土や耕作土を取り除く作業です。ほとんどの場合、重機を使用します。

その次は、遺構検出です。遺構検出は表土掘削が終わった土の表面を作業員さんにきれいに削ってもらい、遺構(人間が生活していた痕跡)を確認する作業です。周囲の土とは色調や土質が異なることに気をつけて、遺構の輪郭をつかみ、どのような性格なのかを推測します。

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
電話番号:059-363-3195/ファックス:059-363-3196
E-mail: maibun@pref.mie.jp